

岡山市長 様

提案者 特定非営利活動法人烏城犬猫動物育英会
 所在地 岡山市北区京山二丁目5番1号
 代表 役職 代表理事
 氏名 秋山 輝幸
 協働課 保健所衛生課
 所在地 岡山市北区鹿田町一丁目1番1号
 代表 役職 課長補佐
 氏名 丸山 稔

令和4年度 市民協働推進事業提案書

岡山市との協働により課題解決を図るため、令和4年度岡山市市民協働推進事業を提案します。

提案事業の名称	保護犬の人馴れ訓練プロジェクト	
提案型 <small>(該当する方に○してください)</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型	<input type="checkbox"/> NPO提案型
①社会課題の概要 <small>※詳細については様式第2号に記入してください</small>	<p>以前には保健所等に保護される飼い主の判明しない犬・猫はほとんどが殺処分されていたが、現在は出来るだけ新たな飼い主を探すこととされている。</p> <p>岡山市においても飼い主の判明しない保護犬、保護猫は、新たな飼い主への譲渡を行っている。しかし、特に犬では長期に譲渡が決まらない場合があり、その大きな要因として人馴れしているかどうかが挙げられる。適切な訓練を施さないかぎり、一生を狭い檻で過ごすことになる。本事業はこのような状況を広く市民に発信しながら様々な主体を巻き込み、人馴れしていない犬に対する社会化訓練が安定的・継続的に施される体制の整備や効率よく譲渡を実現するための情報・機会の拡充を進めることで、不幸な一生を過ごす犬を少しでも減らすことを目指すものである。</p>	
②定性的効果 定量的効果 <small>※解決する内容と評価する指標 ※詳細については様式第2号に記入してください</small>	<p>○定性的効果</p> <p>(1) 人馴れしていない犬の訓練体制の整備</p> <p>(2) 効率的な譲渡を実現するための情報及び機会の拡充</p> <p>(3) 安定的・継続的な事業展開を支える支援基盤の確立</p> <p>○定量的効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練体制の整備状況 ・ 譲渡成立件数 	
③提案事業の内容 <small>※詳細については様式第2号に記入してください</small>	<p>(1) 人馴れしていない犬の訓練体制の整備 主に拠点整備、人材育成、サポート体制の整備に関すること</p> <p>(2) 効率的な譲渡を実現するための情報及び機会の拡充 主に譲渡を促進する情報の拡充と譲渡会の開催</p> <p>(3) 安定的・継続的な事業展開を支える支援基盤の確立 専門家とのネットワークづくりや安定的な財源調達に関する検討</p>	
事業の実施予定期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日	
事業予算総額及び 補助金申請額	事業予算総額	3,184,700円
	補助金申請額	2,000,000円

市民協働推進事業計画書

(1) 実施体制

提案者	代表提案団体	特定非営利活動法人 烏城犬猫動物育英会		(担当者名 秋山 輝幸)			
	合同提案団体 (協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)	一般社団法人 ALL AS ONE		(担当者名 田村 江里子)			
	岡山市の担当者	課名	岡山市保健所衛生課		電話	803-1259	
		担当	氏名	丸山 稔		職名	課長補佐
			氏名	竹信 早和		職名	副主査獣医師
		課名			電話		
		担当	氏名			職名	
氏名					職名		

※【令和3年度事業からの代表提案団体の変更について】

本事業の重要な要素となる「訓練」と「譲渡」について、専門性の向上と基盤の整備を促進するため、新たに「訓練」を担う団体を実施体制に加え、明確な役割分担のもとで事業を推進する。なお、「譲渡（譲渡会）」が年5回の開催であることに対して「訓練」は通年で実施されることから訓練を担う団体を「代表提案団体」とした。

(2) 事業の目標・内容 ※以下、数値や指標など用いながら具体的に記載してください。

①社会課題の概要	<p>※各種調査結果や他の地域と比べた岡山市の現状など</p> <p>※岡山市が取り組む理由（各種計画に基づくものか、新規に取り組むものかなど）</p> <p>【岡山市の現状】</p> <p>平成24年9月に動物の愛護及び管理に関する法律（以下、動愛法）の一部が改正され、保健所等で保護される所有者が判明しない犬又は猫、所有者はいないと推測される犬（野良犬等）又は猫は、その飼養を希望する者を募集し、出来るかぎり希望者に譲渡することとされている（動愛法第35条第4項）。</p> <p>これを受けて、岡山市においても殺処分を減らすこととし、保護後に病死した場合や重篤症例の安楽死を除いて、平成29年度以降から殺処分0頭となっている。</p> <p>岡山市保健所に保護される犬は年間約150頭に上るが、その9割は飼い主へ返還またはボランティアへの引き渡し（ボランティア譲渡：一時預かりして新たな飼い主を探す）や新たな飼い主に譲渡されている。特にボランティア譲渡は全体の91%を占めており、岡山市の譲渡事業でボランティアは重要な役割を担っている。しかし、譲渡に結び付けることが困難な保護犬（保健所残留年間10頭程度）として、老犬や飼い主がいない成犬（野良犬等）等があり、特に人馴れしていない成犬を譲渡に結び付けることは非常に困難である。</p> <p>このような状況を受けて、令和3年度協働推進事業で、令和2年8月から行っ</p>
----------	--

ている「ZOO ねるパーク（池田動物園）」を拠点とした人馴れ訓練に参加するボランティアへの支援、及びもう一つの拠点として「わんどックハウス（ALLASONE 所有）」において主に譲渡支援を開始した。これにより譲渡も促進しており、一般の新たな飼い主への譲渡も増加している。新たな事業拠点である「わんどックハウス」での譲渡会では譲渡実績はもちろんのこと、愛護事業の啓発や地域との連携に結びついている。

なお、啓発事業では積極的な市民への働きかけにより、市の動物愛護事業の認知度が上がり、多くの市民からの協力が得られ、人馴れしていない成犬（野良犬等）の保護収容頭数は例年に比べ増加傾向にある。

しかし、依然として岡山市がボランティアに譲渡する犬（毎年 100 頭以上）の約半数程度はいまだにボランティアの元で飼育されながら新たな譲渡先を探し続けている。

以上の状況から、人に馴れていない犬等をさらに譲渡につなげるため、以下のようなボランティアが抱える課題を解消・改善しなければならない。

【ボランティアが抱える課題】

①活動費用の不足

ボランティア団体が譲渡活動において一番課題となる問題の一つが、医療費（譲渡に繋げる為に必要な手術や治療、不妊化手術、検査、投薬等必要な医療費）やフード費用その他様々な活動費の負担が大きいということである。現在、寄付金や支援金ではまかないきれず、多くのボランティア団体・個人も共に必要費用を自己負担にて活動を継続している。

当会の年間支出総額は約 350 万円にのぼり、ボランティアの参加・継続を困難にする大きな要因となっている。殺処分に使われていた予算を命を生かす為に計上するなど行政が関わることで自己負担が軽減され、一頭でも多くの犬を引き出すことが可能となり、安心安定して活動することが出来る。

②ボランティア人材の不足

原則として訓練は毎日行う必要があり、現在、訓練拠点である「ZOO ねるパーク（池田動物園）」にて、3 名のベテランボランティアが訓練士の指導の下に新たなボランティアの養成を行っている。しかし、新たな問題として、現在の環境、訓練方法では十分な効果が得られない犬がおり、犬に合った環境等での訓練が必要とされている。そこで、もう一つの活動拠点である「わんどックハウス（ALLASONE 所有）」等でこのような犬を受け入れる態勢を整える必要がある。

訓練はボランティア個々の活動可能な時間を実働している。訓練に携わる人数が犬の人馴れの効果・効率に影響することや過度の負担のないローテーションの確立を考慮すると、2 つの拠点における事業推進には実働出来る 20 名程度のボランティアの確保が必要となっている。ボランティアの活動を促すためにも活動費用の補助が必要である。

③専任の訓練士との連携

ボランティアだけでは犬への関わり方が個々で違うため、保護犬に不安を与えてしまう。専門知識のある訓練士が携わることにより、保護犬の精神安定に繋がりを、人馴れも促進される。

	<p>④専任の獣医師との連携</p> <p>獣医師が携わることで、日々の訓練で気づいた些細な変化にも臨機応変に対応することが出来る。訓練の効果・効率の向上をはじめ、訓練における犬のけがや病気への対応については専門家の協力が不可欠であり、本事業を通じて安定的・継続的な協力関係を構築しておくことが望ましい。</p>
<p>②定性効果と定量的効果</p>	<p>※事業を評価するための、解決する具体的な内容と指標を記入して下さい</p> <p>○定性的效果</p> <p>(1) 人馴れしていない犬の訓練体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護犬を訓練する拠点の確保と整備 ・保護犬を訓練するボランティアの発掘と育成 ・ボランティアに対する各種サポートメニューの構築 <p>(2) 効率的な譲渡を実現するための情報及び機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・譲渡を促進するための保護犬情報の発信 ・譲渡会の開催 ・新たな飼い主に「捨てさせない」ための助言・指導 <p>(3) 安定的・継続的な事業展開を支える支援基盤の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家からの助言を受けられる体制 <p>○定量的効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練体制の整備：常時 20 名程度のボランティアを確保しておく ・1 年以内の譲渡成立件数：20 件
<p>③提案事業の内容</p> <p>※箇条書きで簡潔に書いてください</p>	<p>1 年目の目標</p> <p>①訓練及び譲渡を安全かつ円滑に実施するための組織体制やルールの整備</p> <p>②専門家等との相互理解の促進</p> <p>【令和 3 年度の実施状況】</p> <p>「Z00 ねるパーク（池田動物園）」及び「わんどックハウス（ALLASONE 所有）」を拠点に人馴れ訓練事業とその啓発活動を実施。ボランティアの献身的な訓練によって令和 3 年 10 月現在で「Z00 ねるパーク」での訓練犬が 21 頭、わんどックハウスでの 2 回の譲渡会で 3 頭が譲渡に結びついている。全譲渡犬 24 頭中、一般の飼い主への譲渡数は 11 頭であった。特に新たな事業拠点である「わんどックハウス」では譲渡事業だけでなく、メディアの取材等が増え情報発信に貢献しているとともに、地域問題にも取り組んでおり、様々な分野との連携を図ろうとしている。譲渡後もボランティアの協力を得て、新たな飼い主に飼育状況等の確認、飼養に関するアドバイス等の支援を行っている。</p> <p>しかし、このような状況から当会への事業負担が増加しており、令和 4 年度は合同提案団体と分担して事業を進めることとする。</p> <p>ホームページや SNS 等を活用した情報発信により、市の動物愛護事業の認知度が上がり、ボランティアの応募数が増えるとともに捕獲への協力が得られやすくなっている。これによって、人馴れしていない成犬（野良犬等）の保護収容頭数が例年に比べ大幅に増加傾向にある。今後受け入れ体制の拡充の検討も必要となっている。</p>

(NPO)

- ・(1) 訓練体制の整備に関すること
- ・ボランティアマネジメント、訓練会場の整備
- ・犬の訓練士と協力し、訓練技術をボランティアと共有する
- ・人馴れ訓練（毎日）、人馴れ訓練教室（月2回）の実施
- (2) 譲渡を実現する情報及び機会の拡充に関すること
- ・譲渡に関する情報発信（新たな飼い主の募集）
- ・新たな飼い主に「捨てさせない」ための教育カリキュラムづくりと実施
- ・譲渡誓約書等のルールや書式の整備
- (3) 支援基盤の確立に関すること
- ・訓練士及び獣医師による相談会の開催
- (広報は保健所が（ボランティア募集合）行う）
- ・専門家を交えた会議
- ・譲渡会開催

(岡山市)

- (1) 訓練体制の整備に関すること
- ・訓練会場の選定・整備
- ・訓練士及び専門家の選定と調整
- ・ボランティアの募集
- (2) 譲渡を実現する情報及び機会の拡充に関すること
- ・譲渡会場の選定・確保
- ・譲渡会の広報
- ・譲渡に関する情報発信（新たな飼い主の募集）
- (3) 支援基盤の確立に関すること
- ・不特定の市民への普及啓発（岡山市が主催する動物愛護イベントとの連携等）
- ・プロジェクト連絡会議（専門家等を対象とする）の招集

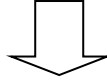
2年目の目標 ※1年目で終了する場合、記入の必要はありません

- ①一般施策化に向けた事業成果の検証
- ②プロジェクトを継続するための体制（外部組織を含む）整備と財源確保

(NPO)

- ①1年目の事業に関しては継続実施。
※訓練事業については主にNPO 法人鳥城犬猫育英会が担う。
※譲渡事業については主に一般社団法人 ALL AS ONE が担う。
- ②一般施策化に向けた事業成果の検証
- ・サポートメニューの検証と見直し。
- ・新たな飼い主に向けた教育カリキュラムの検証と見直し
- ・初年度の譲渡先へ向けたアンケートの実施
- ③プロジェクトを継続するための体制整備と財源確保
- ・専門家との連携を深める。
- ・プロジェクト継続のための資金作りの検討。

	<p>(岡山市)</p> <p>①1年目の事業に関しては継続実施。</p> <p>②一般施策化に向けた事業成果の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度事業の成果検証と評価 <p>③プロジェクト継続に必要な体制整備ボランティア確保のための施策の検討</p>
--	---



(3) 事業終了後の事業

事業終了後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次年度に一般施策 □ 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度に一般施策 □ 次年度に提案団体の自主事業 □ 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度の自主事業 □ その他 ()
事業の内容	<p>訓練の効果及び新たな飼い主への譲渡状況等を検証し、期待した成果・効果が認められた場合、持続的な事業実施のための一般施策化を目指す。</p> <p>なお、訓練の内容、場所等は岡山市が指定することを想定しているが、現状から訓練の多様性が必要と考えられるため、市民の保有する技術、施設の活用方法を検討する。事業の性質上、民間のネットワークやノウハウ(ソフト)だけでなく、施設や設備(ハード)を含めた事業設計を検討する。</p>

(4) 事業スケジュール

※自由に枠を追加・結合・分割してご記入ください。

時期		訓練体制の整備	譲渡の情報及び機会の拡充	支援基盤の確立
4月	上旬	随時ボランティア募集 訓練計画の策定 人馴れ訓練	飼い主教育カリキュラムの構築 飼い主候補に対する教育（随時）	HP、SNS等で訓練の様子や日々の情報を不定期で発信する。（通年）
	中旬		譲渡会の日時・会場決定	プロジェクト連絡会議
	下旬			
5月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		
	下旬	施設清掃、草刈り等	譲渡会の広報開始	犬のしつけ教室の広報開始
6月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		
	下旬	施設清掃、草刈り等		
7月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		里親会の広報開始
	下旬	施設清掃、草刈り等	譲渡会/わんドッグ	犬のしつけ教室/わんドッグ
8月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		
	下旬	施設清掃、草刈り等		
9月	上旬	人馴れ訓練教室		プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）	譲渡会/わんドッグ	里親会/わんドッグ
	下旬	施設清掃、草刈り等		クリスマスイベントの広報開始
10月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		
	下旬	施設清掃、草刈り等		
11月	上旬		譲渡会/池田	岡山市動物愛護フェスティバル/池田
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		
	下旬	施設清掃、草刈り等		
12月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）	譲渡会/わんドッグ	クリスマスイベント/わんドッグ
	下旬	施設清掃、草刈り等		
1月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		
	下旬	施設清掃、草刈り等		
2月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）		
	下旬	施設清掃、草刈り等		
3月	上旬			プロジェクト連絡会議
	中旬	人馴れ訓練教室（第2,4金曜日）	譲渡会/わんドッグ	
	下旬	施設清掃、草刈り等		

(様式第3号)

市民協働推進事業収支予算書

提案事業名	
-------	--

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金		
	合同提案 団体負担金等	1,184,700円	
自己資金合計 (a)		1,184,700円	
その他収入			
その他収入合計 (b)			
岡山市補助金申請額 (c)		2,000,000円	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		3,184,700円	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	人件費	1,380,000 円	<p>訓練費（人馴れ訓練等）</p> <p>1ヶ月25日として計上</p> <p>（1回）3人×500円/回=1,500円</p> <p>（1ヶ月）1,500円×25日=37,500円</p> <p>（1年）37,500円×12ヶ月=<u>450,000円</u></p> <p>管理費（ボランティア調整・連絡など）</p> <p>（1ヶ月）1,600円/日×25日=40,000円</p> <p>（1年）40,000円/月×12ヶ月=<u>480,000円</u></p> <p>事務作業費（経理・会議・イベント等チラシ作成業務等）</p> <p>30,000円/月×12ヶ月=<u>360,000円</u></p> <p>イベント管理費（譲渡会等お手伝い要員）</p> <p>（1日）4,500円/日×4人=18,000円</p> <p>（1年）18,000円×5回=<u>90,000円</u></p>
	謝金	136,000 円	<p>8,000円/回</p> <p>（1ヶ月）月1回程度×8,000円=8,000円</p> <p>（1年）8,000×12ヶ月=<u>96,000円</u></p> <p>（イベント時）10,000円×4回=<u>40,000円</u></p>
	旅費交通費（陸送、新幹線、空輸）	60,000 円	<p>陸送（高速料金代含む） 60,000円</p>
	委託料	200,000 円	<p>（参考例）</p> <p>年間で数頭重症な状況にて収容される犬がいる。</p> <p>手術が必要な場合、20万～35万</p> <p>その他ケガ、皮膚疾患、下痢、アレルギー等</p> <p>フィラリア予防、不妊手術には約20万</p> <p>※手術は必要に応じて</p>
	消耗品費 ・ 訓練用	123,000 円	<p>リード首輪ハーネス等（1年）50,000円</p> <p>おやつ代2,500円/月×12ヶ月=30,000円</p> <p>ゴミ袋1,250円/月×12ヶ月=15,000円</p> <p>消臭消毒剤1,500円/月×12ヶ月=18,000円</p> <p>その他10,000円</p>
・ 譲渡会・イベント用	94,100 円	<p>ブルーシート：400/枚×2=800円</p> <p>クレート（中型犬用×1）：58,000円</p> <p>タープテント：18,800円</p> <p>折りたたみ作業テーブル：6,500×1=6,500円</p>	

	印刷製本代	11,600 円	その他 10,000 円 譲渡会イベント等チラシ 580 円/100 部×5×4 回=11,600 円
事業実施経費合計 (e)		2,004,700 円	
管理 運 営 経 費	施設費	660,000 円	55,000 円/月×12 ヶ月=660,000 円
	水道光熱費	360,000 円	30,000 円/月×12 ヶ月=360,000 円
	通信費 (インターネット)	60,000 円	5,000 円/月×12 ヶ月=60,000 円
	施設管理費 (ドッグラン敷地整備及び草刈り、補修等)	100,000 円	
管理運営経費合計 (f)		1,180,000 円	
総事業費 (g) = (e) + (f)		3,184,700 円	

(添付書類等)

- ・ 人件費等については、積算の根拠 (これまでの実績や独自の単価表) を添付すること
- ・ 参加料などの事業収入を見込む場合は「その他収入見込」欄に計上すること
- ・ 委託費は補助金交付申請額の 3 分の 1 以内に限りませ